

令和6年4月吉日

関東甲信地区各都県教育委員会教育長 様
同 各市町村教育委員会教育長 様
同 各 学 校 長 様
同 関 係 各 位

第48回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会
千葉大会 会長 空 閑 一 (公印省略)

第48回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会 千葉大会 (第一次案内)

陽春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の研究協議会を下記のとおり開催いたします。現行の学習指導要領が実施され、3年が経過しました。本県では、グローバル社会で活躍できる日本人を育成するために、外国語でコミュニケーションすることを楽しみ、自らの考えなどを主体的に発信する力のある児童生徒を目指す生徒像を目標に掲げ、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意図的に設定し、英語を使って学び、学びながら使いコミュニケーションを楽しみ、さらに英語を学ぼうとする動機づけが高まる指導法はどのようなものかを焦点に力を注いでまいりました。県下一丸となって「チーム千葉」で取り組む、新しい課題に臨みたいと思っております。多くのご参加をお待ちしております。

1. 趣 旨

これまでの英語教育の実践並びに英語教育の現状を見直し、英語教師自らの資質の向上と授業の改善・充実を図り、関東甲信地区英語教育の発展に寄与しようとするものである。

2. 主 題 Inspire! 「使える」にシフトする 英語教育の推進!

～主体的に学び、楽しみ、発信し、仲間と深め合う授業の創造～

3. 期 日 令和6年11月8日(金)

4. 日 程

第1・2・3・4分科会

受付	県内提案	公開授業	休憩	授業研究会	休憩	県外提案	閉会 行事
----	------	------	----	-------	----	------	----------

12:10 12:30 13:10 13:25 14:15 14:40 15:15 15:30 16:30

第5分科会

	受付	公開授業	休憩	授業研究会	休憩	県外提案	閉会 行事
--	----	------	----	-------	----	------	----------

13:00 13:25 14:15 14:40 15:15 15:30 16:30

基調提案及び記念講演(シンポジウム)はYouTube 配信にて行う

5. 記念講演 敬愛大学 国際学部 向後 秀明 教授 (シンポジウム形式による)

6. 主 催

関東甲信地区中学校英語教育研究協議会
千葉県教育研究会外国語教育部会

7. 共 催

神奈川県公立中学校教育研究会英語科部会／長野県英語教育研究会／埼玉県英語教育研究会
東京都中学校英語教育研究会／山梨県中学校英語教育研究会／茨城県教育研究会英語教育研究部
群馬県小学校中学校教育研究会中学校英語部会／栃木県中学校教育研究協議会英語部会

8. 後 援(申請予定)

文部科学省／神奈川県教育委員会／長野県教育委員会／埼玉県教育委員会／東京都教育委員会
山梨県教育委員会／茨城県教育委員会／群馬県教育委員会／栃木県教育委員会
千葉県教育委員会／木更津市教育委員会／袖ヶ浦市教育委員会／習志野市教育委員会／船橋市教育
委員会／千葉市教育委員会／鎌ヶ谷市教育委員会／公益財団法人日本教育公務員弘済会千葉支部

9. 分科会テーマ・提案都県

分科会	分科会テーマ	提案都県	会場（授業公開校）
第1分科会	言語活動の充実	神奈川 茨城 千葉	木更津市立清川中学校 袖ヶ浦市立昭和小学校
第2分科会	小中接続	長野 千葉	習志野市立第三中学校
第3分科会	ICT(端末)活用	群馬 千葉	船橋市立坪井中学校
第4分科会	指導と評価の一体化	埼玉 栃木 千葉	千葉市立新宿中学校（会場） 千葉市立稲毛中・幸町第三小（授業者）
第5分科会	学びの環境	東京 山梨	鎌ヶ谷市立第二中学校

10. 主題設定の理由

現行の学習指導要領では、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ」言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指すとされている。このコミュニケーションとは、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりする行為である。

本県では、令和3年から5か年にわたる外国語教育推進計画を設定している。その目的は「外国語を使ってコミュニケーションをすることを楽しみ、自己の考えなどを主体的に発信する力のある児童生徒の育成」である。その目的を達成するために、①授業の質の向上を図る（英語指導力）②児童生徒の英語力・学ぶ意欲の向上③教員の英語力・専門性の強化を図ることを柱として、これまで研究を進めてきた。

本大会においては、副主題を「主体的に学び、楽しみ、発信し、仲間と深め合う授業の創造」とし、英語でコミュニケーションする目的や場面、状況を意図的に設定し、英語を使って学び、学びながら使いコミュニケーションを楽しみ、さらに英語を学ぼうとする動機付けが高まり、自律的に学習する児童生徒が増え、学習者の英語力および英語発信力が高まる指導法はどういうものか探っていくこととした。

11. 分科会について

第1分科会「言語活動の充実」

「リテリング」を通して、聞くこと、読むことで得た情報を的確に理解し、相手にわかりやすく自分の言葉で説明することができる英語運用能力を目指した指導法を探る。

第2分科会「小中の接続」

相手意識でつながる外国語小中接続。分かりやすく英語で伝えるためにはどのような力をそれぞれの校種においてつけるべきか、具体的な指導法を探る。

第3分科会「ICT(1人1端末)活用」

協働的な学びでICTを効果的に活用し、実際のパフォーマンス力の向上を目指す有効な指導法を探る

第4分科会「指導と評価の一体化」

学びのつながりを意識し、学習到達目標（Can-Doリスト）や尺度評価（ループリック）の工夫を図ることで、「伝える力」を伸ばす指導法及び評価の一体化の有効な方法を探る。

第5分科会「学びの環境」

学校と地域連携・協働を通して、動機付けを高め、積極的に英語使用を図り、他国との交流を進める環境づくりの体制と指導手順を探る。

12. 参加費

参加者1名につき、4,000円（大会要項・資料代等を含む）

13. 参加申し込み

参加のお申し込みについては、第二次案内にてご案内します。（令和6年8月中旬に発送予定）

14. 問い合わせ

第48回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会千葉大会事務局
浦安市立美浜中学校 主幹教諭 小井沼 芳枝 TEL 047-354-1199 MAIL oinuma.yoshie@city.urayasu.lg.jp